目次

第５章．付録

５－１．バージョンアップ方法

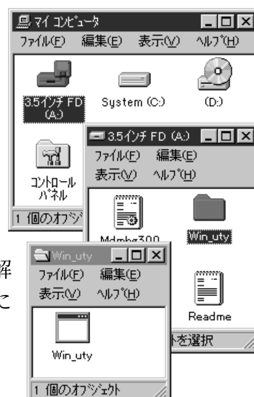
本機には、ファームのバージョンアップ機能があります。
バージョンアップには、専用ユーティリティとファームデータが必要です。
バージョンアップを行なう場合には、以下の説明を参考にして下さい。

> **参考**
> 専用ユーティリティは、添付FD（フロッピーディスク）にて、最新ファームデータは、弊社HomePageにて、それぞれ提供されます。

５－１－１．ユーティリティのインストール

最初にバージョンアップユーティリティのインストールを行います。
添付のFD（フロッピーディスク）にバージョンアップ用ユーティリティソフトが収録されています。
次の使用OS別のインストール方法に従って、お手持ちのパソコンにユーティリティをインストールしてください。

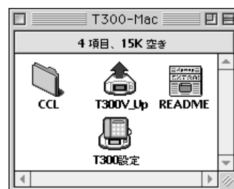
ａ）Windows95・NT4.0へのインストール



①添付FDをご利用のパソコンにセットします。
②Windowsデスクトップのマイコンピュータから3.5インチFDをダブルクリックして開き、「Win_uty」フォルダの中にある「Win_uty」（自動解凍型圧縮ファイル）をハードディスクにコピーして下さい。
③コピーした「Win_uty」をダブルクリックすると解凍され、インストールを開始します。画面の指示に従って、インストールを行って下さい。

ｂ）MacOSへのインストール

①添付FDをご利用のパソコンにセットし、デスクトップに表示されたFDのアイコンをダブルクリックして開きます。
②CD-ROMの中に"Mac"というフォルダがありますので、ダブルクリックして開いて下さい。
開いたフォルダーの中に「Ｔ３００設定」と「T300V_Up」というアイコンがありますので、パソコンのハードディスクにコピーして下さい。インストールはこれで終了です。



５－１－２．ファームデータのダウンロード

次にファームデータのダウンロードを行います。
ファームデータとは、本機の核となる内部プログラムのことです。
本機は、このファームデータを交換することにより、ハード的な制限がない限り様々な機能を付加できます。
なお、最新のファームデータは、ALEXON ホームページ（www.alexon.co.jp)にて公開されます。



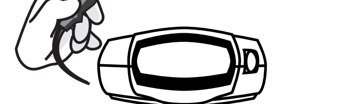
バージョンアップ作業は、公開されたファームデータと製品に添付の専用ユーティリティにより行います。
アレクソンのHomePageが表示されましたら、「製品＆サポート」コーナーに行きます。※23
「製品＆サポート」のコーナーの中に「TD300シリーズFTP」のコーナーがありますので、ここより最新のファームデータをダウンロードしてください。※24

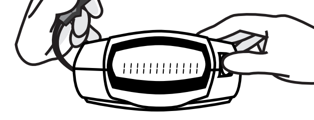

ファームデータは、TD300シリーズをお選び下さい。間違ったファームデータでバージョンアップを行うと、動作しなくなりますのでご注意下さい。

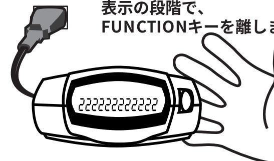
５－１－３．本機の設定

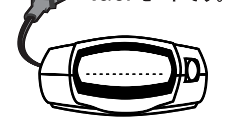
本機をバージョンアップモードにします。
次の手順に従って本機をバージョンアップモード（バージョンアップできる状態）にして下さい。

①本機の電源を一度切って、FUNCTIONキーを押しながら、再度電源を入れて下さい。「222222222222」と表示されましたら、FUNCTIONキーから手を離して下さい。
②「-----------」その後、「P001----9600」と表示されて、バージョンアップモードになります。











★このときにFUNCTIONキーを押すと「P001--115200」と表示されて端末速度115.2kbpsになります。（Mac-OSでは使用できません）

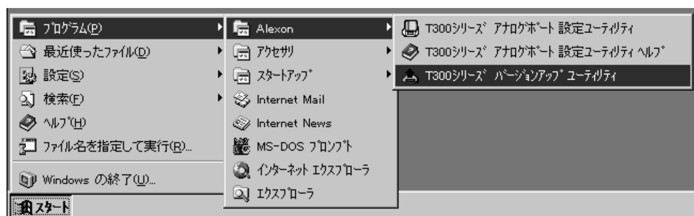
※23 HomePage上の記載・構成は、予告なく変更されることがあります。
※24 ファームデータのファイル名には、"xxxx.bpg"というように".bpg"という拡張子がついています。

5－1－4．バージョンアップを行います。

TD300シリーズ以外のファームデータを入れると動作しなくなります。

a）Windowsでのバージョンアップ

①先にインストールしたバージョンアップユーティリティを起動させます。
Windows デスクトップのスタートメニューより「プログラム」→「ALEXON」→「T300 シリーズバージョンアップユーティリティ」を選択して下さい。
バージョンアップユーティリティが起動します。



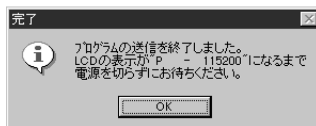
②最初の画面が表示されましたら､「実行」ボタンを押して下さい。
ファームデータの選択画面が表示されます。



③選択画面で、「参照」ボタンを押し、先にアレクソン HomePage よりダウンロードしたファームデータを選択します。（ファームデータには、"T300-200.bpg"のように".bpg"という拡張子がついています。）
本機との接続 Data ポート（COM）番号と転送速度、本機がバージョンアップモードになっているかどうか確認して「実行」ボタンを押して下さい。バージョンアップが始まります。



④バージョンアップ終了後、自動でリセットして再起動します。再起動後、「P-115200」と表示されるまで、電源を切らないで下さい。



以上で、Windows によるバージョンアップ作業は終わりです。

第5章

付録

b）MacOS でのバージョンアップ

①先にインストールしたバージョンアップユーティリティを起動させます。
先にご使用のパソコンにコピーした「T300V_Up」のアイコンをダブルクリックして下さい。バージョンアップユーティリティが起動します。

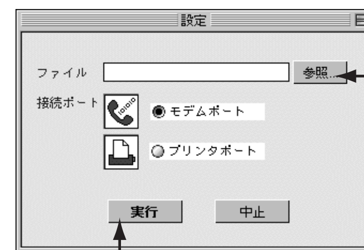


②最初の画面が表示されましたら、「実行」ボタンを押して下さい。
ファームデータの選択画面が表示されます。



「実行」ボタンを押します。

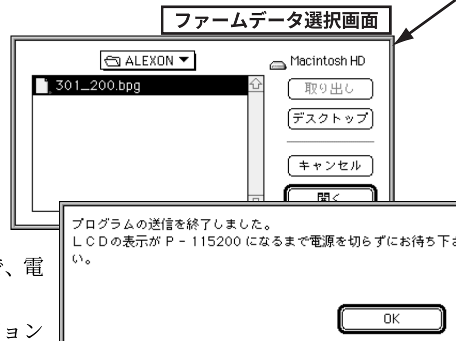
③選択画面で、「参照」ボタンを押し、先にアレクソン HomePage よりダウンロードしたファームデータを選択します。（ファームデータには、"T300-200.bpg"のように".bpg"という拡張子がついています。）
本機との接続 Data ポートと本機がバージョンアップモードになっているかどうか確認して「実行」ボタンを押して下さい。バージョンアップが始まります。



「参照」ボタンを押してファームデータを選択します。

他の設定（バージョンアップモードなど）を確認して「実行」ボタンを押します。

④バージョンアップ終了後、自動でリセットして再起動します。再起動後、「P-115200」と表示されるまで、電源を切らないで下さい。



以上で、MacOSによるバージョンアップ作業は終わりです。

第5章

付録

５－２．ディップスイッチ

本機の背面にあるディップスイッチは、停電モードや終端抵抗の設定をするときに使用します。

初期値➡初

SW	内容	ON	OFF
1 2	終端抵抗	終端抵抗あり 初	終端抵抗なし
3	停電モード	停電時に乾電池により動作 初	停電時には動作せず
4	未使用	常にOFF 初	

［SW1～2］終端抵抗

終端抵抗とは、ISDN回線に１つだけ必要なものです。

初期値は、あり（ON）に設定されています。

ご利用の回線に接続しているISDN機器※25が、本機１台だけ場合には、「あり（ON）」のままで設定を変更しないでください。

他にも回線上にISDN機器を接続している場合には、DSUから一番遠い終端抵抗のみ残してその他のISDN機器は「なし（OFF）」に設定してください。

※ディップスイッチ１・２の設定は、必ず一緒にしてください。「SW１OFF・SW２ON」や「SW１ON・SW２OFF」等の設定は絶対にしないでください。

SW３）停電モード

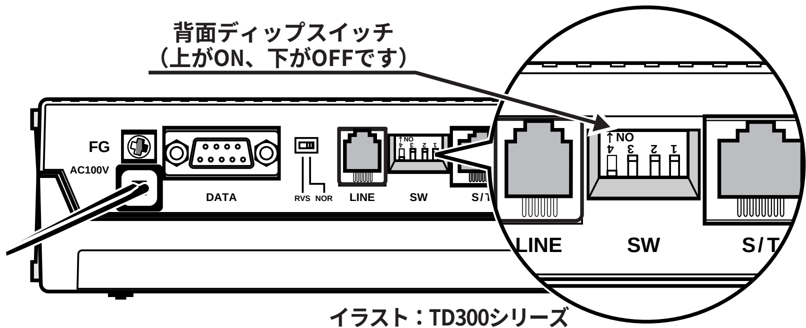
停電時に動作させるかどうかの設定です。**初期値は停電時にも動作（ON）**に設定されています。

停電時に動作しないようにするのであれば、OFFに設定してください。

停電モードの詳細に関しては、「１－４．停電時の動作」P16をご参照ください。

SW４）未使用

必ずOFFにしてください。



イラスト：TD300シリーズ

※25 TELポートやDATAポートに接続される電話機やコンピュータなど非ISDN機器は、この場合では対象外です。

第５章 付録

５－３．通話操作一覧

表中の［フッキング］は、キャッチ（ホン）ボタンでも代用可能です。

＊、＃など特殊記号が必要な操作はDP方式の電話機では使用できません。

Ⓕマークが入っている操作のフッキングは、フッキング代用機能をオンにするとフッキングの代わりに＃で同様のことができます。

目的	操作（PB）	頁
電話をかける 普通にかける サブアドレスを付けてかける 短縮ダイヤルからかける リダイヤル	 （電話番号）＃※26 （電話番号）＊（サブアドレス）＃※26 ＊（短縮番号） ＊＊	 32 57 41 33
コールウェイティング（割込着信）を禁止して電話をかける※27	－プリフィックス発信－ １８０（電話番号）＃※26	44
機器種別を変更して電話をかける※27 機器種別「任意」 機器種別「電話」 機器種別「FAX」	－プリフィックス発信－ １８１（電話番号）＃※26 １８２（電話番号）＃※26 １８３（電話番号）＃※26	45
フッキング代用を一時停止にして電話をかける※27	－プリフィックス発信－ １８５（電話番号）＃※26	97
他のTELポートを呼び出す	－内線呼出－ ２＃　DP（ダイヤルパルス）の場合、２２２	35
通話中にかかってきた別の電話を受ける	－割込着信（コールウェイティング）－ ［フッキング］　Ⓕ（＃１）	37
通話を保留にして他に電話をかける	－通話中発信－ ［フッキング］１※28（電話番号）＃※26Ⓕ	49
保留中の電話と切り換える	－通話・保留切替－ ［フッキング］１※28Ⓕ	61
保留中の電話と通話中の電話をつなげる または　三者通話中に自分が抜ける	－通信中転送－ ［フッキング］０※28Ⓕ	78
他のTELポートを呼出し通話中の電話をまわす※29 呼出TELポートと話してまわす 呼出TELポートと話さずにまわす TELポート呼出中に中止	－内線転送－ ［フッキング］２※28→通話→［オンフック］Ⓕ ［フッキング］２※28→［オンフック］　Ⓕ TELポート呼出中に［フッキング］Ⓕ（＃１）	36
保留中と通話中の相手と同時に話す ミキシング開始 ミキシング終了	－三者通話（ミキシング）－ ［フッキング］３※28Ⓕ ［フッキング］１※28Ⓕ	87
通話を保留にして同一回線上の他のTAに接続した電話で受ける※29 保留にする 保留を受ける	－通信中機器移動－ ［フッキング］＃※28（０～９※30※31）Ⓕ ＃（０～９※31）＃	92
特殊ダイヤル	［フッキング］（特殊ダイヤル）［フッキングまたはダイヤル完了タイマ］	33
ダイヤルキャンセル※32	［フッキング］	
ビジートーンキャンセル	［フッキング］※33　Ⓕ（＃１）	

※26 ＃を押さずにいるとダイヤル完了タイマ（初期値４秒）後に発信します。
※27 内線では無効です。
※28 フッキング完了タイマ（初期値約３秒）以内にダイヤルしないと自動的に１がダイヤルされ、通話中発信や通信・保留の切替になります。
※29 フレックスホンによる保留がある場合には無効です。
※30 通信中機器移動の場合、直前のダイヤルからフッキング完了タイマ（初期値約３秒）以内に次のダイヤルをしないと、自動的に１がダイヤルされ、保留番号１になります。
※31 ０～９は保留番号です。
※32 特殊ダイヤルはキャンセルできません。
※33 保留相手がいる場合、保留相手と通話状態になり、それ以外はダイヤルトーンが聞こえます。

第５章 付録

5－4．TEL ポート設定操作一覧

設定項目	ダイヤル入力	概要	頁
切断信号（CPC信号）	#0*0*00［初期値］ #0*0*01	**切断信号を出さない** 切断信号を出す	94
発着信履歴クリア	#*990	発着信履歴クリア	48
料金累計クリア	#*999	料金累計クリア	93
コールバック料金累計クリア	#*9（短縮番号）	コールバック料金累計クリア コールバック兼用短縮番号：20～39	93
短縮ダイヤル 登録	0*（短縮番号）（電話番号）#	短縮ダイヤル：各ポート別に00～39	41
コールバック	1*0 ［初期値］ 1*1 1*2	**禁止** 許可（発信者番号通知対応） 許可（非発信者番号通知含む）	88
中継	1*30［初期値］ 1*31	**禁止** 許可	90
発着信履歴	1*40 1*41 1*42 1*43［初期値］	履歴記憶しない 発信履歴記憶 着信履歴記憶 **発着信履歴記憶**	46
疑似なりわけ	1*50［初期値］ 1*51	**禁止** 許可	69
ナンバーディスプレイ	1*60［初期値］ 1*61 1*62	**禁止** 許可１ 許可２	66
ホットライン発信	*##1*70［初期値］ 1*71	**解除** 使用	52
着信転送	2*0［初期値］ 2*1	**転送解除**　#20　全TELポート転送解除 転送セット　#21　全TELポート転送セット	74
登録	2*2（電話番号）#	着信転送先登録	74
遅延転送	2*3（呼出回数［初期値０］）	呼出回数は０～９	79
転送アナウンス	2*4（パターン［初期値１］）	パターンは１～４ **1：転送アナウンスなし&転送元アナウンスなし** 2：転送アナウンスあり&転送元アナウンスなし 3：転送アナウンスなし&転送元アナウンスあり 4：転送アナウンスあり&転送元アナウンスあり	84
セット用暗証番号	2*5（暗証番号） 2*5#	リモート用。暗証番号は４桁固定 セット用暗証番号削除	80
解除用暗証番号	2*6（暗証番号） 2*6#	リモート用。暗証番号は４桁固定 解除用暗証番号削除	80
フリー転送	2*7（パターン［初期値２］）	パターンは０～３ ０：禁止 １：許可（転送失敗アナウンスなし） **２：許可（転送失敗アナウンスあり）** ３：許可（るすでん呼出/アナウンスなし）	76
追っかけ転送	2*8（電話番号）#	追っかけ転送先登録	79
着信制御	3*0 3*1［初期値］ 3*2 3*3 3*4 3*5	着信拒否 **通常呼出** 割込着信 追加呼出 割込着信＋追加呼出 割込着信＋追加呼出＋追加割込着信	58
発信者番号通知	4*0 4*1 4*2［初期値］	通知しない 通知する **契約による**	43
ダイヤルイン	5**（ダイヤルイン番号）# 5*（ダイヤルイン番号）# 5**# 5*#［初期値］	設定ダイヤルインのみ着信 設定ダイヤルイン＆グローバル着信 グローバルのみ着信 **グローバル＆全てのダイヤルイン着信**	55

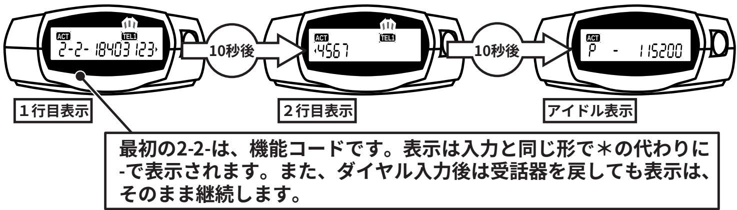
設定項目	ダイヤル入力	概要	頁
サブアドレス	6**（サブアドレス番号）# 6*（サブアドレス番号）# 6**# 6*#［初期値］	設定サブアドレスのみ着信 設定サブアドレス&サブアドレスなし着信 サブアドレスなしのみ着信 **サブアドレスなし&全てのサブアドレス着信**	57
機器種別	7*1［初期値］ 7*2 7*3	**機器種別「任意」** 機器種別「電話」 機器種別「FAX」	65
ダイヤル完了タイマ	8*（完了秒［初期値4］）	完了秒は０～９　０は#入力まで発信せず	53
通話音量	9*0（レベル［初期値３］）	レベルは０～４ ０：最小　４：最大	92
TEL２遅延呼出	9*1（遅延回数［初期値０］）	遅延回数は０～９ 遅延回数１は、呼出ベル１コール間隔	71
フッキング	9*20［初期値］ 9*21 9*22	**禁止** 許可 通信中発信用フッキングのみ禁止	95
フッキング有効時間	9*23（０～９［初期値１］）	０：約0.03秒　５：約0.5秒 **１：約0.1秒**　６：約0.6秒 ２：約0.2秒　７：約0.7秒 ３：約0.3秒　８：約0.8秒 ４：約0.4秒　９：約0.9秒	96
オンフック認識時間	9*24（０～９［初期値３］）	０：約0.2秒　５：約0.7秒 １：約0.3秒　６：約0.8秒 ２：約0.4秒　７：約0.9秒 **３：約0.5秒**　８：約１秒 ４：約0.6秒　９：約２秒	96
フッキング完了時間	9*25（０～９［初期値３］）	０：約3.5秒　５：約５秒 １：約１秒　６：約６秒 ２：約２秒　７：約７秒 **３：約３秒**　８：約８秒 ４：約４秒　９：約９秒	96
内線呼出音	9*30［初期値］ 9*31	**通常音** 短いサイクル音	71
ローカル切断音	9*40 9*41［初期値］	無音 **継続**	94
識別着信	9*50［初期値］ 9*51 9*52 9*53 9*54 9*55 9*56	**禁止** 許可（登録電話帳＆短縮ダイヤル） 許可（9*51＋INSなりわけ） 許可（発信者番号通知＋INSなりわけ） 許可（9*52＋公衆電話） 許可（9*53＋公衆電話） 許可（発信者番号通知拒否以外）	64
新無鳴動着信	9*60［初期値］ 9*61 9*62 9*63 9*64	**無鳴動着信なし** 機器種別「FAX」のみ無鳴動着信 全て無鳴動着信 グローバル着信のみ無鳴動着信 ダイヤルイン着信のみ無鳴動着信	70
呼出音周波数	9*7（０～３［初期値０］）	**０：約16.7Hz**　２：約25.0Hz １：約20.0Hz　３：約33.3Hz	72
ダイヤル方式	9*80［初期値］ 9*81	**PB（プッシュホン）** DP（ダイヤルパルス）	51
プライベート呼出	9*90［初期値］ 9*91	**禁止** 許可	63
フッキング代用	9**0［初期値］ 9**1	**フッキング代用OFF** フッキング代用ON	97

第5章
付録

5－5．設定内容表示操作一覧

電話操作により、本体の液晶パネルに現在の設定内容を約10秒間※34 表示します。
（１行で表示できない場合には、最終に▶が表示され、約10秒後に残りが表示されます。また、前の行がある場合には、◀が表示されます。）

例 転送先電話番号03-123-4567に、発信者番号通知拒否の184を付加して登録した場合の表示（TEL１電話機利用）



表示内容	ダイヤル入力	表示例	
短縮ダイヤルに登録した電話番号	#0＊（短縮番号）	0-00- 1234567 短縮０の登録電話番号 123-4567	
コールバック	#1＊0	1-0	コールバックオフ
中継	#1＊3	1-3-0	中継オフ
発着信履歴	#1＊4	1-4-0	履歴記憶オフ
擬似なりわけ	#1＊5	1-5-0	擬似なりわけオフ
ナンバーディスプレイ	#1＊6	1-6-0	ナンバーディスプレイオフ
着信転送	#2＊0	2-0	着信転送オフ
着信転送先電話番号	#2＊2	2-2- 1234567	転送先 123-4567
着信転送遅延回数	#2＊3	2-3-0	遅延なし
転送アナウンス	#2＊4	2-4- 1	転送/転送元共アナウンスなし
転送セット用暗証番号	#2＊5	2-5-2307	暗証番号 2307
転送解除用暗証番号	#2＊6	2-6-5201	暗証番号 5201
フリー転送	#2＊7	2-7-2	アナウンスあり
追っかけ転送先電話番号	#2＊8	2-8-9876543	追っかけ転送先987-6543
着信制御	#3＊	3- 1	通常
発信者番号通知	#4＊	4-2	契約による
ダイヤルイン	#5＊	5-- 1234567	ダイヤルイン123-4567のみ着信
サブアドレス	#6＊	6-777 登録サブアドレス 777 とサブアドレスの付加されてない電話のみ着信	
機器種別	#7＊	7- 1	機器種別「任意」
ダイヤル完了タイマ	#8＊	8-4	４秒
通話音量	#9＊0	9-0-3	音量普通
TEL２遅延呼出	#9＊1	9- 1-0	遅延なし

※34 発信履歴・着信履歴・不在着信履歴は、約30秒間表示します。

第5章 付録

表示内容	ダイヤル入力	表示例	
フッキング制御	#9＊20	9-2- 1	フッキング許可
フッキング有効時間	#9＊23	9-2-3- 1	0.1秒
オンフック認識時間	#9＊24	9-2-4-3	0.5秒
フッキング完了時間	#9＊25	9-2-5-3	３秒
内線呼出音	#9＊3	9-3-0	通常
ローカル切断音	#9＊4	9-4- 1	継続
識別着信	#9＊5	9-5-0	識別着信オフ
新無鳴動着信	#9＊6	9-6-0	無鳴動着信禁止
呼出音周波数	#9＊7	9-7-0	16.7Hz
ダイヤル方式	#9＊8	9-8-0	PB（プッシュホン）
プライベート呼出	#9＊9	9-9-0	プライベート呼出オフ
フッキング代用	#9＊＊	9---0	フッキング代用機能OFF
前回の通話料金	#＊0	C- 10	前回通話料金 10円
通話料金累計	#＊#	C-2 1000	累計料金 21,000円
コールバック料金累計	#＊（短縮番号）	C20-5230 ※コールバック用短縮番号は 20～39 迄です。	20番コールバック累計5,230円
発信履歴表示	##1	03 12345678 約30秒間表示。表示中に「＊」を押すことで、現在表示されている履歴の１つ前の履歴を表示します。	03-1234-5678に発信履歴
着信履歴表示	##2	03 12345678 約30秒間表示。表示中に「＊」を押すことで、現在表示されている履歴の１つ前の履歴を表示します。	03-1234-5678から着信履歴
不在着信履歴表示	##3	03 12345678 約30秒間表示。表示中に「＊」を押すことで、現在表示されている履歴の１つ前の履歴を表示します。	03-1234-5678から不在着信履歴

短縮ダイヤル確認操作の例



第5章 付録

5－6．うまくいかない？

主なトラブルの現象ごとに、解決策を説明しています。
また、記載されていないトラブルが発生した場合や記載している解決策で解決されない場合には「5－7．アフターサービスについて」P155をお読みになり、お買い上げ店またはALEXON サポートセンターにご相談ください。（インターネットに接続できる環境であれば、最初に弊社 HomePage［http://www.alexon.co.jp］のＱ＆Ａをご参照ください。）

●液晶パネルのACTが消えて、通話もDATA通信もできない。

→ACTが消えている場合には、電源関係に問題があります。次の点をご確認ください。
①電源コードは、コンセントに確実に差し込まれていますか？
②コンセントに確実に差し込んでください。
③コンセントに電源はきていますか？

●液晶パネルのACTマークが点滅して、通話もDATA通信もできない。

→ACTが点滅している場合には、ISDN網関係に問題があります。次の点をご確認ください。
①（TD300シリーズの場合）
ISDN回線コネクタ（LINE）とISDN回線とは付属のISDN回線ケーブルによって確実に接続されていますか？
②（T300シリーズの場合）
S/T端子（S/T）とDSU（もしくはDSU内蔵TA）とは付属のＳバスケーブルによって確実に接続されていますか？
③（TD300シリーズの場合）
ISDN回線リバーススイッチを逆転（NOR側に入っていればRVS側に、RVS側に入っていればNOR側に変更）させてください。ACTは点灯いたしましたか？
④ディップスイッチ１‐２<終端抵抗>を逆転（ON-ONであればOFF-OFFに、OFF-OFFであればON-ONに変更）させてください。ACTランプは点灯いたしましたか？

［電話編］

●電話を受けることはできるが、かけられない。

→電話を受けることはできるが、かけられない場合、ダイヤル方式に問題があります。次の点をご確認ください。
ダイヤル方式の初期値は、PB（プッシュホン）です。接続の電話機がPBであることをご確認ください。もし、DP（ダイヤルパルス）であれば、電話機をPBに設定するか、本機のダイヤル方式をDPに設定してください。

●電話をかけることはできるが、受けられない。

→電話をかけることはできるが、受けられない場合、着信の設定に問題があります。次の点をご確認ください。
①着信制御が着信禁止になっている可能性があります。接続電話機より、３＊０（着信拒否）以外に設定してください。
②一部の相手からの電話のみ受けられる場合には、プライベート呼出や識別着信の設定がされている場合があります。この場合には、各設定の欄をよくお読みになり、適切な設定を行ってください。
③相手先がサブアドレス発信できないにも関わらず、設定サブアドレスのみ着信の設定をしている可能性があります。この場合には、接続電話機より、６＊＃（サブアドレスなし＆全てのサブアドレス着信）に設定してご確認ください。
④ダイヤルインの契約をされていて設定がされていない、または、逆の可能性があります。ダイヤルイン契約をしている場合には、ダイヤルイン番号を使用するTELポートに市内局番からダイヤルインの設定をしてください。
逆にダイヤルインの契約をせずにダイヤルインの設定のみ行っても、ダイヤルイン機能はご利用できません。
また、ダイヤルインのみ受け付ける設定をしていると、グローバル着信電話番号では、（設定したTELポートでは）電話を受け付けなくなります。各設定の欄をよくお読みになり、適切な設定を行ってください。

第5章 付録

［データ通信編］

●電話は利用できるが、データ通信が利用できない。接続ソフト起動中、液晶パネルのER非表示。

→電話は利用できるが、データ通信が利用できなく、 ERも非表示の場合、接続に問題があります。次の点をご確認ください。

①パソコンと接続のRS-232Cケーブルが確実に接続されているかご確認ください。

②接続ケーブルに全ピン接続のRS-232Cケーブルが利用されているかご確認ください。

③パソコンのCOM 1・COM 2の設定と、実際のケーブル接続先が、間違っていないかご確認ください。

●インターネットへの接続ができない。接続ソフト起動中、液晶パネルのER表示。

→接続ソフトの設定の問題が考えられます。次の点をご確認ください。

①接続プロバイダの通信モードにあったモデム定義ファイルを利用しているか。

②アクセスポイントの電話番号は正しいか。
多いのは、一般電話のアクセスポイント（つまりモデムで接続するアクセスポイント）を指定している場合です。この場合は、接続できません。非同期38.4kと同期64kのアクセスポイントも電話番号が異なりますのでご注意ください。

③ ID、パスワードが正しいか。
液晶パネルに回線速度が表示された後、すぐに切断されるようならばID、パスワードが異なるケースが考えられます。

●インターネットへの接続はできるが、ホームページが閲覧できず、メールも使えない。

DNS（ドメイン・ネーム・サーバ）のIPアドレスやドメイン名は正しいか。
WWWサーバにアクセスできない。「DNS項目にありません（もしくは、このサーバは見つかりません、など）」という通知が何度もなされる場合、IPアドレスやドメイン名が間違っているケースが考えられます。ご確認ください。

第5章 付録

5－7．アフターサービスについて

保証書（別添付）について

お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入を確認のうえ受け取り、記入内容をご確認して大切に保管ください。

保証期間：お買い上げ日から３年間

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に、取扱説明書をご覧になってお調べください。
それでも調子が良くならないときには、お買い上げ店または下記のALEXON サポートセンターにご相談ください。



ALEXON サポートセンター
東京： TEL03-5645-8571
大阪： TEL06-307-3237
受付時間： 月～金曜
10：00～12：00　13：00～16：30
（祝祭日・年末年始・弊社休日を除く）

保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

保証期間を過ぎている場合には

修理によって使用できる場合には、ご要望によって有償で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後５年です。

● 商品の故障・誤動作または外部要因により、利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的補償については当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめ、ご了承ください。

アレクソンのHomePageには、Q&Aコーナーがあり、よくある質問はこのコーナーにてご紹介させていただいております。是非こちらのコーナーもご活用下さい。

HomePage アドレス：　http://www.alexon.co.jp

第5章 付録

5－8．主な仕様

項目			サービス内容	
ISDN回線	適用回線		INSネット64	
ISDN回線	インターフェース構造		２B＋D（基本インターフェース）　ピンポン方式	
ISDN回線	インターフェース形態及びレイヤ１起動種別		P－MP常時または、P－MP呼毎	
ISDN回線	回線接続コネクタ		６pinモジュラージャック（RJ-11）<TD300シリーズ>	
ISDN回線	バス配線接続コネクタ（S/T点）		ISO8877準拠　８pinモジュラージャック×１　給電あり<TD301>	
ISDN回線	利用通信サービス		Bチャネル回線交換（伝送速度：64kbps/１ch）	
			Dチャネルパケット交換（伝送速度：16kbps/１ch）	
データポート	インターフェース		ITU-T勧告　V.24/V.28準拠（DOS/V機互換D-SUB９pinコネクタ）	
データポート	回線交換	同期方式	非同期、非同期/同期PPP変換（MP［BOD/BACP］）、PIAFS	
データポート	回線交換	通信速度（kkbps）	非同期（V.110）	9.6/19.2/38.4
			同期（PPP）	64/128（マルチプロトコルによるバルク転送）
			同期（PIAFS）	32
データポート	回線交換	端末速度（kbps）	非同期	9.6/19.2（38.4/57.6/115.2/230.4）
			非同期/同期PPP変換	（　）内は、規格外　※115.2以下は自動認識
データポート	回線交換	速度整合手順	V.110（非同期転送時）	
データポート	回線交換	非同期/同期変換時データ	PPPフォーマット	
データポート	回線交換	接続手順	ATコマンド、ダイレクトコール	
データポート	回線交換	対応チャネル	Dチャネル	
データポート	回線交換	接続形態	VC、PVC	
データポート	回線交換	同期方式	非同期	
データポート	回線交換	通信速度（kbps）	16	
データポート	回線交換	端末手順（kbps）	9.6/19.2（38.4/57.6/115.2/230.4）　（　）内は規格外	
データポート	回線交換	接続手順	ATコマンド、ダイレクトコール	
TELポート	インターフェース		６pinモジュラージャック（RJ-11）×２、ブランチ接続不可	
TELポート	基本機能	発信ダイヤル	PB（プッシュホン）、DP（ダイヤルパルス）	
TELポート	基本機能	設定方式	接続電話機、接続パソコン	
TELポート	基本機能	供給電圧その他	約48V（無負荷時）　極性反転機能付き	
TELポート	サポート機能		フレックスホン※35、ダイヤルイン、サブアドレス発信/受信、通信中機器移動、料金情報通知、通信中着信通知、発信者番号通知、着信相手番号表示（ナンバー・ディスプレイ電話機対応）、INSなりわけ、機器種別設定、スティミュラス手順（INSボイスワープ/ダイヤルQ２）	
TELポート	独自機能		擬似フレックスホン（三者通話［ミキシング］以外全て）、擬似なりわけ、内線通話、内線転送、ダイヤルイン識別着信（グローバルセレクト）、リダイヤル、中継、追っかけ転送、るすでん呼出、コールバック、各種着信選択、識別着信、新無鳴動着信、プライベート呼出、通信履歴	
その他	停電モード		TD300シリーズ	待ち受け時間：約５時間/通話時間：約２時間
			T300シリーズ	待ち受け時間：約６時間/通話時間：約2.5時間
			使用電源	アルカリ単３乾電池×６本（別売）
その他	装備		ファームアップデート機能、縦横置き対応、終端抵抗、折り返し試験機能付きDSU内蔵<TD300シリーズ>	
その他	使用電源		AC100V±10%　（50/60Hz）	
その他	消費電力		約６W<TD300シリーズ>、約5.5W<T300シリーズ>	
その他	外形寸法		181mm（W）×150mm（D）×54mm（H）	
その他	重量		約0.6kg<TD300シリーズ>、約0.56kg<T300シリーズ>（停電モード用乾電池含まず）	
その他	使用環境		温度０～40℃　湿度20～80%（但し結露なきこと）	
その他	適合認定番号		TD301	T98-0032-0 / U98-0015-0
			T301	T98-0047-0

※35 フレックスホンとは、コールウェイティング・通信中転送・三者通話・着信転送の４つのサービスの総称です。

第５章　付録

5－9．TELポートに交換機やビジネスホンを接続されるお客様へ

本機は交換機やビジネスホンでも快適にご利用いただけるよう、以下の特長・機能を備えています。ご設置・現地調整前にご精読ください。

A. 接続用モジュラーケーブルについて

TEL １およびTEL ２のモジュラー端子L１、L２の極性は、NTT公衆回線と同等になっています。
極性を監視しているビジネスホンでもストレートのモジュラーケーブルがご利用いただけます。

B.TEL １優先着信の設定について

初期設定ではTEL １が優先的に着信します。
初期値のままで、外部から1本目の着信があればTEL１のみ着信させ、TEL １が使用中に２本目の着信があればTEL ２を着信させます。

１本目の着信でTEL １、TEL ２両方を着信させたい場合には、TEL ２に" 追加呼出 "の設定をしてください。

代表取扱サービスを契約される方は、通信中着信通知サービスを契約しないで下さい。順次サーチの場合、着信が代表子の回線に流れなくなります。

C. フッキングの設定について

１. 電話機の呼び戻し対策

通話を終了し受話器を置いた際、すぐに電話が呼び出される場合は、電話機から出るチャタリングのノイズを本機がフッキングと判断し、" 通話中発信 "等が機能していることが考えられます。この場合以下のいずれかの設定をしてください。

設定１　フッキングを無効に戻す。
方法１　電話機より９＊20（フッキング無効）
設定２　フッキングを有効のまま、チャタリングだけ無視します。
フッキング有効時間（フッキング有効最小押下時間）を、チャタリングのノイズ時間より長く設定します。
方法２　電話機より９＊23ｎ
「ｎ」は、０～９です。
（初期値は、１です）
０：約0.03秒
１：約0.1秒
２：約0.2秒
３：約0.3秒
４：約0.4秒
５：約0.5秒
６：約0.6秒
７：約0.7秒
８：約0.8秒
９：約0.9秒
ｎはチャタリングのノイズ時間より長くします。

第５章　付録

例　チャタリングが0.2秒の場合は９＊233とすることにより、約0.3秒以内はチャタリング等によるノイズとみなします。

ｎの数字が大きくなると、フッキングと判断する時間の幅が狭くなります。チャタリングによるノイズを無視できる最小の値で設定して下さい。

２．通話終了時にフックボタンで通話を切りたい場合

電話機についているフックボタンをフッキングには使用せず、通話切断用に使用したい場合、以下の設定をして下さい。

設定　フッキングを無効とした上で、オンフック認識時間（フッキング有効最大押下時間）を、フックボタンによるフッキング時間より短く設定します。

方法　電話機より９＊20　（フッキング無効）
つづいて、９＊24ｎ
「ｎ」は、０～９です。（初期値は、３です）
０：約0.2秒
１：約0.3秒
２：約0.4秒
３：約0.5秒
４：約0.6秒
５：約0.7秒
６：約0.8秒
７：約0.9秒
８：約１秒
９：約２秒

ｎはフックボタンによるフッキング時間より短くします。

例　フックボタンによるフッキング時間が0.8秒の場合には９＊245とすることにより、約0.7秒以上はオンフックと見なします。

ｎの数字を小さくしすぎると、ノイズなどで通話が切断されやすくなりますので、フックボタンによるフッキング時間よりオンフックを認識できる最大の値で設定して下さい。

第５章
付録

5－10．索引

第５章
付録

平成十年五月一日　第三版発行